

## 卓 話

### 新D&S列車 JRKYUSHU SWEET TRAIN 「或る列車」について

九州旅客鉄道株式会社  
長崎支社長 深田 康弘 様



JR九州では、管内各地のローカル線でD&S(デザイン&ストーリー)列車と称する観光面に特化した観光列車を多数運行しております。D&Sの由来は、これらの列車が特別なデザインと運行する地域に基づくストーリーの「デザインと物語のある列車」であるというところからでございます。

各D&S列車の特徴としては、内外装やサービスに乘客を楽しませる仕掛けが施されており、熊本県の「A列車で行こう」では、車内にアルコール飲料を提供するバーを備え、鹿児島県の「指宿のたまて箱」については、沿線の浦島太郎伝説にちなみ、ドアが開くとドア上部から玉手箱の煙に見立てた白いミストが噴出する仕組みを施しております。中には、列車の運行中に客室乗務員が沿線の神話をモチーフにした手作りの紙芝居を披露するサービスが行われている「海幸山幸」といった列車も運行されております。

そして、今夏には、10番目のD&S列車である、新D&S列車 JRKYUSHU SWEET TRAIN「或る列車」が大分地区にて運行を開始いたしました。「或る列車」は、世界的に有名な鉄道模型愛好家の故原信太郎氏が製作した模型をベースに、原氏の次男で原鉄道模型博物館副館長である原健人氏の監修のもと、「なつ星 in 九州」を手掛けた水戸岡鋭治氏がデザイン・設計を行っており、列車名のARUには、AMAZING(「素晴らしい」九州の魅力を広く紹介)、ROYAL(「豪華な」デザイン、「素晴らしい」スイーツコース)、UNIVERSAL(「世界中の」「皆さま」に愛される列車を目指して)の意味が込められています。

車内で提供されるスイーツは、東京・南青山のレストラン「NARISAWA」のオーナーシェフである成澤由浩氏が監修し、コースは、サンドウィッチやサラダを閉じ込めた小箱とスープからスタートし、旬のフルーツをたっぷり使ったスイーツ3品、そしてミニャルディーズ(お茶菓子)へと

続きます。食材は九州産にこだわり、成澤氏が実際に九州各地の生産者を訪れ、五感で確かめた質の高いものだけを使用しております。また、食器類についても九州の職人の皆さまがこの列車のために特別に制作したオリジナルを用意し、非日常感あふれる贅沢な時間を演出しております。

これらD&S列車の運行を「地域の元気」につなげるためには、地元の方々による取り組みが必要不可欠でございます。8月8日の大分地区における「或る列車」の運行開始日においても、各駅での歓迎イベントやホームでの旗振り等、様々なおもてなしが催され、現在も毎回の運行時にご協力をいただいております。

そして11月1日、長崎地区においてもいよいよ「或る列車」が走り始めます。現在、「なつ星 in 九州」の運行時には、長崎駅や佐世保駅、有田駅を中心におもてなしを行わせていただいておりますが、そこで培ったノウハウを存分に活かしながら、また「或る列車」の運行を更なる契機とし、地元の皆さまと一緒に長崎全体の地域のにぎわいづくりに取り組んで参りたいと思います。

以上

### \* 10~11月 例会卓話者予定 \*

10月28日 新会員 星 裕さん  
(九州電力(株)相浦発電所 所長)

11月4日 海上自衛隊佐世保地方総監  
海将 山下 万喜<sup>かずき</sup> 様

### \* 西海学園高等学校インターアクトクラブ例会予定 \*

日時/10月21日(水) 17:00~  
会場/西海学園高等学校 記念館 会議室

### \* 長崎国際大学ローターアクトクラブ例会予定 \*

日時/10月22日(木) 18:30(食事開始)~20:00  
会場/長崎国際大学 食堂

\*西海学園IAC、長崎国際大学RACにご出席されますと、メイクアップにもなりますのでご活用ください。  
\*RACへご出席される方はお食事の要・不要の確認をいたしますので、事務局までお知らせください。

(今週の担当: 上野 好章)

(カメラ担当: 岡村 一郎)

### クラブ会報委員会

委員長 岡村 一郎  
副委員長 土井 弘志

委員 河原 忠徳・吉田 英樹・大神 吉史  
田口 恵介・上野 好章



# SASEBO WEEKLY

R.I. D.2740 JAPAN  
佐世保ロータリークラブ

会 長：田中丸善弥 幹 事：芹野 隆英  
事務所：佐世保市島瀬町10-12 親和銀行本店内 TEL 0956-22-7720 FAX 0956-25-6323  
例会会場：佐世保玉屋8階(毎週水曜日) TEL 0956-23-8181  
http://www.sasebo-rc.jp/ E-mail:src@circus.ocn.ne.jp

平成 27 年 10 月 14 日

第 3,186 回例会

NO 14

《本 日》 会員数 76 名 (出席免除会員 23 名)・出席 52 名・免除者欠席 11 名・欠席 13 名・ビジター 0 名・出席率 68.42 %

《前々回》 会員数 75 名 (出席免除会員 23 名)・出席 48 名・免除者欠席 12 名・欠席 15 名・メークアップ 15 名・修正出席率 100.00 %

## 会長挨拶

会長 田中丸善弥

皆さん今日は。10月も半ばとなり随分涼しくなりました。10月12日は「体育の日」でした。(第2月曜日 平成12年より、ハッピーマンデー法案による)これは、元来、東京オリンピックを記念して10月10日を体育の日と制定したものです。



来る2020年(平成32年)7月24日(～8月9日)からのオリンピックは、1964年の東京オリンピック以来56年振りになります。スポーツに親しみ健康な心身を培いましょう。

さて、今日は「ロータリーの友」について少し話をさせていただきます。昭和28年1月発刊、定価50円(今は200円)での創刊号3,300部でのスタートだそうです。(今は約95,000部発行)縦組は東京案、横組が大阪案によるものだったそうです。英語の用語もあり横組がよい、横書きの習慣の定着とか、用語はすべて訳すればよい、俳句が縦組みがよいとか…アンケートを採り横書きでのスタートになったそうです。また、RIの指定雑誌になる為には、RI指定記事の掲載が義務です。その後、1972年1月号からはっきりと左から開けると横書き、右から開けると縦書きとなったそうで、最初にロータリアンになって手に取ったとき両側が表紙になっていて何だか変だなあと皆さんも感じられたことでしょう。

原則、横書きはRIの方針や地区、クラブ紹介などロータリーの公式なもの。一方、縦書きは会員のコミュニケーションの場、基礎知識を広める場として会員の投稿などが掲載されています。こうした興味深いお話はロータリーの友9月号に掲載されています。どうぞ、皆さまも一度目を通して頂ければと思います。

お詫びと訂正；前回会長挨拶No.13 で10月は、今年度より「経済と地域社会の発展月間／米山月間」となっております。(昨年までは「職業奉仕・米山月間」でした。)お詫びと訂正させていただきます。

## 例会記録

- ロータリーソング「奉仕の理想」
- 卓話者  
JR九州長崎支社 支社長 ふかた やすひろ 深田 康弘 様  
(長崎RC会員)  
こいたばしかずき 小坂橋和記 様
- ゲスト

## 幹事報告

幹事 芹野 隆英

### 1. 国際ロータリー第2650地区

ガバナー 中澤 忠嗣さん  
ローターアクト委員長 山本 耕司さん  
地区ローターアクト代表 山本 真菜さん  
第28回全国ローターアクト研修会並びに  
第13回アジア太平洋地域ローターアクト会議  
大会会長 大亀 靖治さん

第28回全国ローターアクト研修会並びに第13回アジア太平洋地域ローターアクト会議登録のご案内が届いております。

開催日程／2016年3月18日(金)～3月21日(月・祝)  
メイン会場／1日目 グランドプリンスホテル京都  
2日目以降 国立京都国際会館

宿泊先／京都市内ホテル

登録料／RC ①全日程参加・3泊宿泊料込み 87,000円  
②全日程参加・宿泊なし 33,000円  
③2日目以降参加・宿泊なし 25,000円

締め切り／宿泊あり 2015年9月30日(木)必着  
宿泊なし 2015年12月31日(木)必着

## 委員会報告

### ■ローターアクト委員会

松本 淳也

長崎国際大学ローターアクトクラブ  
公式訪問例会報告



去る10月8日(木)19:00からホテルオークラJRハウステンボスにて長崎国際大学ローターアクトクラブ公式訪問例会が開催され、佐世保RCから田中丸会長、増本次年度会長、山口委員長、高瀬副委員長、大神吉史さん、松本が出席しました。例会では田本長崎国際大学RAC委員長が卓話をされた後、国際ロータリー第2740地区RAC地区代表立石健悟氏から地区テーマ「人のチカラ」についての説明を受け、長崎国際大学RACの現況、今後の課題及び会員増強の取り組み等にかかる活発な意見が交わされました。若い会員たちが第三者の意見に熱心に耳を傾け、真摯に考える姿勢に大いに感銘を受けました。

### ■クラブ奉仕・管理運営委員会

委員長 黒木 政純

本日(10月14日)より男声合唱団の練習を始めます。第1回は三浦町のシダックスで午後7時から行います。来週10月21日(水)は午後6時半から三ヶ町の中央公民館となっていますので、お間違いないようにしてください。是非、たくさんの方の参加をお待ちしています。



## 朗遊会より

朗遊会幹事 土井 弘志

10月10日(土)に開催致しました第2回朗遊会は18名の参加でした。国際ソロプチミスト佐世保パール主催のチャリティーゴルフ大会と同時開催でした。

朗遊会の方は優勝 大久保利博さん、準優勝 坂本 敏さん、3位 遠田公夫さんでした。ちなみにチャリティーゴルフ大会も大久保さんがダブルでの優勝となりました。3位は松尾文隆さんでした。

〔結果報告〕

順位	氏名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
1	大久保利博	40	42	82	13.2	68.8
2	坂本 敏	39	40	79	7.2	71.8
3	遠田 公夫	52	50	102	30.0	72.0

## 雑誌の時間

クラブ会報・広報委員会

上野 好章

『ロータリーの友』より  
「弘法大師とロータリー」について



高野山で生活されている廣瀬住職のスピーチ記事ですが、話の序盤でこんなことをおっしゃっています。

「散る桜 残る桜も 散る桜」

この句を詠んだ作者の心中をこう解しています。

「一生懸命咲いて、安らぎと癒やしを与えてくれて散っていく桜の姿」ではないかと…。

人に癒やしを与える、安らぎを与えること、これが良寛さんの精神であり、お大師さま(弘法大師)の精神であり、ロータリーの精神なのだ…。

住職は高校を卒業してすぐに修行に入られたそうです。そこで仕えた師匠が厳格な方で、それはそれは厳しくて一週間くらいでどこかに逃げてしまおうかと思ったそうです。

そんなある日、師匠に「床の間から、いつもの皿を持ってきてくれ」と命じられ、持って行く途中、皿を落として割ってしまったそうです。大変高価なお皿でしたが、どうすることもできなくて、畳の上にひれ伏して、泣きじゃくっていたところ、師匠がやってきて、「どうした? ケガはなかったかな?」と言われ、一緒に壊れた皿を拾ってくれたのだそうです。

その優しい言葉と態度に、はっと目が醒め「この師匠はすばらしい師匠だ、私もそのようにならなくてはいけない…」と思い、それからは心を入れかえ懸命に修行に励んだそうです。間違いなく、優しい言葉は人の心をしっかり変える力があるのだと。

そんな経験を例にして、私たちに問いかけています。

皆さんも職業人として、高い倫理観を持っているはずです。社員に対して一番大事なことは褒めてやることだと。褒めの三原則「すごい」「さすが」「すばらしい」と…。こうした褒め言葉は人の生き方の栄養剤になるのではないかと…。

ぜひ、この「すごい」「さすが」「すばらしい」の言葉をいつも心の中に持って、従業員の方々に投げかけてほしいと言っておられます。

「褒めるに勝る兵法はなし」ということです。

また、もう一つ、経験による例え話を用いて、ひとを思いやる気持ち、感謝の気持ちを持ち続けることが大切であると説いています。

## ニコニコボックス

親睦活動委員会 松本 淳也

松本 淳也さん、松原 健さん

山口 剛史さん

深田JR長崎支社長の卓話に感謝して！

田中丸善保さん、山縣 義道さん

11月7日に長崎から佐世保まで「或る列車」に乗ります。楽しみにしております。

増本 一也さん

先週10月8日(木)に開催されました長崎国際大学RACの公式訪問例会、田中丸善弥会長にも、ご出席を頂きありがとうございました。

当日は、地区より古賀青少年奉仕委員長、緒方ローターアクト委員長やローターアクト立石代表等がお見えになりました。その中で、提唱RCとして田中丸会長がご挨拶されましたが、その挨拶の素晴らしさに一同大変感動致しておりました。緒方委員長も思わず握手を求めてくる程でしたから、学生達も大変心に響いたお話だったと思います。これぞ、佐世保RCの会長だなど誇らしげに思っておりました。

しかし、よく考えてみますと、来年は自分の番だと気づき、大変憂鬱になってしまいました。そこで、ご相談ですが、田中丸会長、来年もRAC公式訪問例会、引き続きご挨拶をよろしくお願いします。

古賀 巖さん

今週末10月16・17・18日は「第18回 YOSAKOI させば祭り」です。本年もたくさんご協賛いただき感謝申し上げます。今年も名切会場の司会の中村徳裕さんです。どうぞ会場にも足をお運びください。

長浜 陽介さん

ラグビー日本代表の「勇姿」にニコニコします。オールドラグーマンとして感動しました！

坂本 敏さん

朗遊会にて2位になりました。ありがとうございます。

平尾 幸一さん、坂本 敏さん

川口 博樹さん、石田 謙二さん

誕生祝いありがとうございました。

「商売が繁盛しても、繁盛するのは自分の力もさることながら、会社の従業員、会社を支持してくれた方々がいるからこそ、商売繁盛できるのではないかと。常に感謝の気持ちを持ち、『ありがとう』と数多くの感謝の言葉を言った人ほど幸せになれるのだ」といっています。

そして、素晴らしい経営者とは、商売繁盛の会社ではなく、「人間繁盛の会社」にすることを礎としている人であると。

私も現在さまざまなタイプの部下をかかえており、人材育成が大きな課題となっています。

彼らに対し、指摘・叱責よりも、褒めて気づかせているだろうか？ 励ますことでモチベーションの向上を図っているだろうか？ 厳しい環境の中で収益拡大を目的に、数字の進捗ばかりに意識がとらわれていないだろうか？ と、改めて振り返る良い機会となりました。

大切な考え、行動規範として、会社の発展のために、「まずは会社の人材育成が重要である」、「周囲の方々への感謝が何よりも大切である」ことを忘れてはならない、ということを確認することができました。

今回ご紹介したのは記事のほんの一部でしたが、考えさせられるお話でした。

以上

## 慶 祝

親睦活動委員会 河原 忠徳

### ○今月の誕生祝い

大久保利博さん (8日)

平尾 幸一さん (9日)

西村 一芳さん (10日)

大神 吉史さん (11日)

森 信正さん (18日)

川口 博樹さん (18日)

石田 謙二さん (21日)

坂本 敏さん (28日)

古賀 久貴さん (28日)



◇

ニコニコボックス

本日合計 13,000 円

累 計 374,000 円